

## 宇都宮地方裁判所委員会（第14回）議事概要

（宇都宮地方裁判所委員会事務局）

1 日時 平成20年11月26日（水）15:00～17:00

2 場所 宇都宮地方裁判所第1評議室

3 出席者

（委員・50音順，敬称略）

板橋賢二，金子達也，吉光寺ヒロ子，坂本裕一，柴恵子，白井孝雄，代田郁保，田中徹歩，西岡清一郎，宮川博行，矢古宇克

※田中重夫は欠席

（模擬評議に参加した裁判官）

池本壽美子（宇都宮地方裁判所判事），小林正樹（宇都宮地方裁判所判事）長峰志織（宇都宮地方裁判所判事補）

（庶務）

津田豊事務局長，森田正則事務局次長，佐藤信哉総務課長，大竹正彦総務課課長補佐

4 議事

（1） 模擬評議の実施

広報用DVD（約1時間）を視聴し，その内容を前提に模擬評議を行った。

- ・ 模擬評議体験者 板橋委員，金子委員，吉光寺委員，柴委員，代田委員，矢古宇委員

（2） 意見交換

- ・ 評議を行って感じたことは，裁判官の説明が先行すると，裁判員はそれに頷くだけになってしまうということである。今回の評議の雰囲気はよかったと思う。（委員）
- ・ 親近感が高まるので，裁判員が名前で呼び合う方がよいと思う。また，話を聞く気にもなるのではないか。（委員）
- ・ 裁判官も「さん」付けで呼ぶとよいかもしれない。（委員長）
- ・ お互いの呼び方もそうだが，裁判員が緊張しないための方策が必要だと感じた。（委員）
- ・ 量刑について，本件では刑の執行猶予も選択肢にあり，法定刑の範囲を知って安心して評議を行うことができた。ここからここまでという刑の幅を認識した上で評議をするのがよい。今までは，検察官の求刑にしばられるのでは辛いという印象があった。（委員）
- ・ この強盗致傷事件は，特殊な事件ではない。日常でもあり得る事件だけに，国民の感覚をどのように取り入れていくのかというところが重要だと思う。（委員）
- ・ 評議の中で裁判官が先に話し出してしまうと，裁判員は何も言えなくなってしまうだろう。（委員）
- ・ 11月28日（金）には，いよいよ裁判員候補者名簿記載通知が発送される。（委員長）
- ・ 次回期日は，追って来年5月中下旬に設定したい。（委員長）

以上